

写真2-17 LEDの切り離し

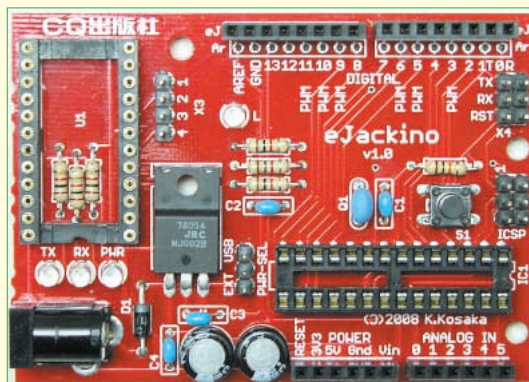


写真2-18 部品実装図

- ⑥ テープで売られている部品は事前に切り離しておきます。このときLEDは極性(アノード：+極，カソード：-極)があるので写真2-17のようにアノード側のリード線が長くなるように切り離します。

■ 部品取り付け

▶ 実装の前に

部品が揃い、基板やピン・ヘッダ、ICソケットなどの加工が終わったらもう一度写真2-18を見て部品の確認と実装のイメージをしてみてください。

▶ 部品の取り付け順序

基本的には背の低い部品から取り付けて行きます。部品は基板の部品面(部品番号がシルク印刷されている面)から挿入し、基板をひっくり返してはんだ面ではんだ付けします。基板をひっくり返すとき部品が抜け落ちることがあるので、薄板や厚紙を当て部品を押さえてひっくり返します。

▶ 部品の取り付け向き

次の部品は取り付ける向きがあります。基板のシルク印刷や部品実装写真を確認して取り付けてください。

- ① U₁ (24ピンICソケット)は、ソケット凹みをシルク印刷の凹みに合わせて取り付けます。
- ② IC₁ (28ピンICソケット)は、ソケット凹みをシルク印刷の凹みに合わせて取り付けます。
- ③ D₁ (整流ダイオード：写真2-19)は、部品のカソード・マークをシルク印刷のカソード・マークに合わせて取り付けます。
- ④ C₅, C₆ (電解コンデンサ：写真2-20)は、部品の+極をシルク印刷の+に合わせて取り付けます。リード線の長いほうが+極です。また、部品パッケージには-極マークが印刷されています。
- ⑤ TX, RX, PWR, LのそれぞれにLED(写真2-21)をはんだ付けしますLEDには極性(アノード：+極，カソード：-極)があります。リード線の長いほうがアノードです。基板のシルク